

センター長だより

113号線と287号線の整備で大塚がどうかわるでしょうか

大塚地区交流センター
センター長 加藤秀樹

はじめに

令和6年3月9日、113号線梨郷道路(梨郷から今泉まで)の開通式があり、出席しました。同じ日に287号線川西米沢線の西大塚から小松(福牡丹酒造付近)の間も開通しました。2つの国道の整備が終了することにより、大塚地区の皆さんが期待することや懸念することがあると思いますので、私なりに思っていることを書いてみたいと思います。

1. 大塚地区の交通事情はどう変わる！

新潟方面と南陽方面からの車は、大塚や川西町に用事がない場合は梨郷道路を使って通り抜け、時間短縮を図ると思います。メディカルタウンを含めその付近に用事がある車は梨郷道路を使い、川西インターで降りると思われます。なお、赤湯、宮内、梨郷の市街地から大塚地区北部、長井、飯豊、白鷹方面へのアクセスは、特に地元の皆さんはコンビニやガソリンスタンドなどがあることから従来通り旧道113号線を利用するのではないかと思います。

一方、大塚から米沢方面、特に米沢市役所、駅、国道13号線や東北中央道へのアクセスは、令和5年12月2日に一般国道287号(米沢長井道路)の【米沢北バイパス】(米沢市窪田～六郷町)が開通したことで利便性が良くなり、時間短縮につながっています。3月9日には、西大塚から六郷町までの【川西バイパス】11.2kmのうち西大塚から高畠川西線(県道7号線)までの2.9kmが開通しました。近い将来、その先が開通して米沢北 IC へと繋がれば、東北中央道、東北道を通って関東圏が近くなります。企業誘致や観光地への集客でもうれしい変化が望めますので、行政(市町村)は歓迎していることでしょう。川西町や大塚地区へも恩恵がもたらされることでしょう。

2. 大塚地区が川西町の副都心に

望むと望まざるに関わらず、メディカルタウンを中心として大塚地区は川西町の副都心的な機能をもつことになるでしょう。単にメディカルタウンができて、個人住宅や様々な店舗ができて賑わうからということだけではありません。メディカルタウンの北東部の公共区域(フラワークリニックの東側)約0.7haに川西町の公共的役割を持つ何らかの施設・設備ができるからです。令和5年度に公共区について協議するメディカルタウン地方創生拠点施設整備基本構想検討委員会が設立され、令和9年度の完成を目指し、協議が始まりました。委員長を除く委員は、私を含めて全員大塚在住者か大塚に職場がある方ですので、将来の大塚地区を十分考慮に入れた考え(目的)に沿って施設・設備が導入されるものと考えています。

3. 大塚はさらに広域的な置賜の中心的機能を担う地区になる

メディカルタウンには、その近隣を含めて広域置賜総合病院の他、3個人病院、薬局、高齢者施設、健康関連施設があり、医療に特化された地域となっていることから、すでに、誰もが認める医療特区と

呼べる地域となっていると考えています。

一方、大塚で国道113号線と287号線が交差するという地理的特異性から、13年前の東日本大震災のような災害が起こった場合には災害対応の要の場所となるでしょう。特に113号線は日本海側と太平洋側の東西を結ぶ動脈(新潟山形南部連絡道路)であり、その中間に位置する大塚が重要な地点であることは間違いありませんし、川西町が広域的に大きな役割、例えば、物資の輸送、リレーあるいはプッシュ型支援の基地の役割を担うことは明らかです。

4. 交通事情の変化に伴い、「心がけたいこと」

(1) 国道の道路幅が広いです！

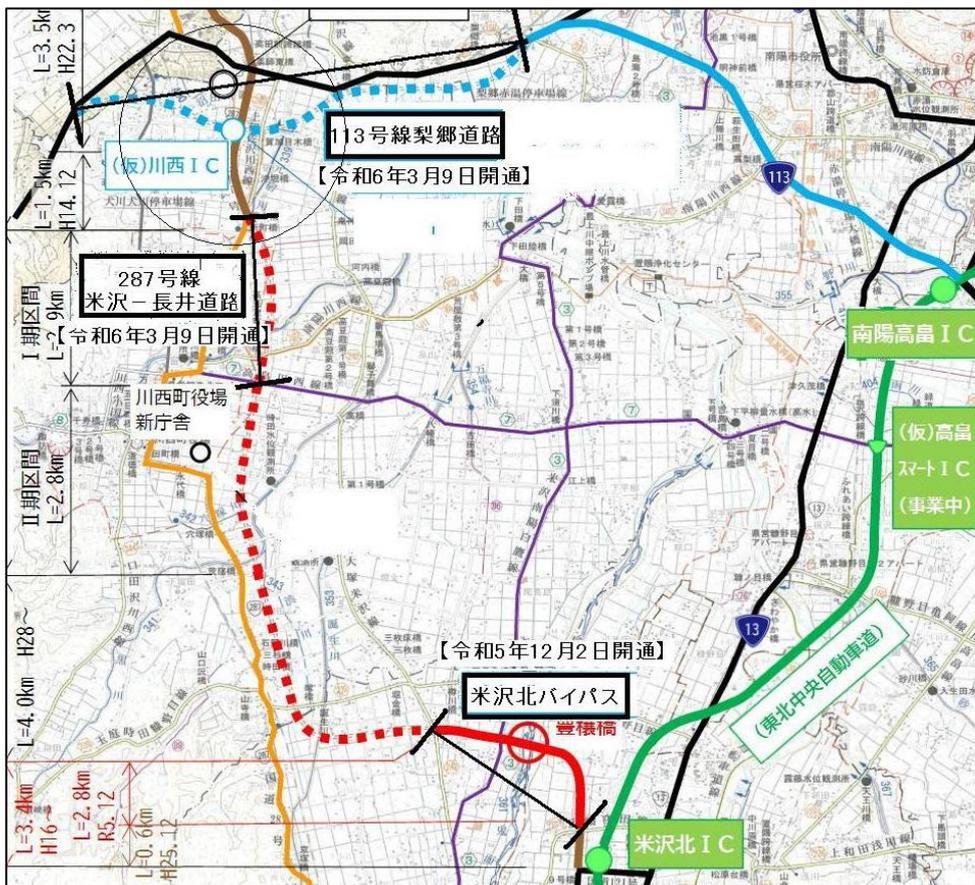
2つの国道が交わる梨郷道路の川西インターを中心とする直径3km内(地図中の細線の円)の道路の事情は大きく様変わりすると思います。国道は道路幅が広いので、安全に横断するには時間がかかります。渡る機会が多い方は横断歩道に慣れるようにしましょう。

(2) 国道を走る車のスピードは速い！

国道113号線と287号線を走る車は60キロから70キロで走るのがほとんどのように思います。普段使う横断歩道に慣れることと、近づいてくる車のスピード感にも慣れる必要があります。信号機のない横断歩道では歩行者優先で車は止まらなければならないのですが、悪質な運転手はスピードを緩めることなく近づいてきます。左右に車が見えない時に渡るくらい用心をしましょう。通学路が国道と交差する横断歩道では、登校時にスクールガードの皆さんが交通指導をしていますので、指示に従ってください。

(3) 雨の日、雪の日は車が止まるまでの距離が長い！

雨、雪の日の時は車も滑りやすく、また、止まるまでの距離(制動距離)も長くなります。また、道路



が滑りやすくなりますので、出かける時は天候に合った履物をはくようにしてください。

(4) 帽子、着衣、靴、スティック、持ち物(鞆)等に反射材を貼りましょう

夜間、歩行者がいることに気付くのが遅れ、事故になることが知られています。運転者に歩行者がいることを知らせることが大切です。懐中電灯をもって歩く、明るい色の洋服を着る、持ち物や履物などに蛍光反射材を付けるなど、自ら身を守るように心がけましょう。

(5) 横断歩道以外の車道を横断しないようにしましょう

横断歩道が近くにはないからと言って、車道を横断することは大変危険です。運転者は車道に人がいるとは思わずに走っていて、スピードが出ていますので、人に気づいてからブレーキをかけても間に合わないこととなります。歩行者にも交通ルールを守る責任があることを自覚しましょう。

まとめ

113号線と287号線の2つの国道の整備が終わり、いよいよ大塚にも高速道路の時代が来ました。今回は、大塚地区が今後どう変わるかを考えてみました。3月10日、開通したばかりの287号線の犬川地内で車同士の事故がありました。交通ルールを守るよう再認識していただいて、特に子供や高齢者が交通事故に遭わないようお願いしたいものです。

センター長出張、会議出席等

期間：令和6年2月1日～2月29日

月日時間	会議・出張等の名称	会場
2月1日(木)、9時半～11時	7地区センター長会	町役場
2月3日(土)、8時45分～11時	高齢者宅訪問(除雪)	交流センター
2月14日(水)、9時～12時	映画鑑賞・うた声喫茶	交流センター
2月16日(金)、14時～16時	山新5G・IOT・AI コンソーシアム	遊学館
2月18日(日)、9時～12時	中郡雪まつり、犬川雪まつり表敬訪問	各交流センター
2月18日(日)、14時～16時	置賜農業高校演劇部発表会	フレンドリーPlaza
2月22日(木)、9時半～10時	筋認体操(とっとり方式体操)	交流センター
2月22日(木)、13時半～15時	大塚小学校学校運営協議会	大塚小学校
2月27日(火)、13時半～15時半	川西町地域学校連絡協議会	町役場
2月28日(水)、10時～11時半	まちカフェ	いきがい交流館
2月29日(木)、8時半～9時半	センター定例会議	交流センター
2月29日(木)、15時半～17時	町健康づくり推進協議会	町役場

その他:5、19、26日開催の百歳体操に参加した。

募集中！

大塚地区交流センターでは、引き続き以下の募集を行っておりますので奮ってご応募ください。

- ・生涯学習推進員(センタースタッフ)※主にスポーツ大会運営
- ・治平館だより等の編集委員ならびに読者モニター
- ・人材バンク登録(専門的な技術や知識、特技等をお持ちの方)
- ・趣味の講座の生徒および世話係(準備や後片付け等)



以上については、随時受付をしております。大塚地区交流センターまで申し込み用紙に必要事項を記載し提出してください。電話やメール等で応募していただいても結構です。